

○岩館尚文画伯

切り絵作家、絵馬師、彫り物師など、いろいろな顔をもつ遠野市在住の画家・岩館尚文氏(77)。馬への造詣が深く、市内の随所で岩館氏が手掛けた馬の作品を見ることができます。綾織町の自宅兼アトリエでお話を伺いました。



阿部貞任と戦った源氏の長・源頼義の愛馬を描いた絵馬

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.66

2022年5月1日

○馬を描く



岩館氏は青森県八戸市出身。以前は新聞社のデイリー東北でカメラマンをしていましたが、やがて独学で学んだ絵の才能を発揮するようになりました。切り絵画家の宮田雅之(注)に弟子入りを志願したところ独学を貫くよう言われ、手渡された画集の模写をして勉強を続けたそうです。スケッチブックを抱えてヨーロッパの旅に出かけた折、イタリアの各地で見た彫刻の馬に心動かされたという岩館氏。1985年に遠野へ移住し、画家として最初に受けた仕事が遠野物語の「おしらさま」の絵だったこと、そして乗用馬生産者の白岩與一郎氏との出会いがきっかけとなり、岩館氏は馬を描き続けています。(写真左：2022年2月 綾織町のアトリエにて)



アイスランドポニー



カマルグの馬



寒立馬



最後の南部馬・盛号



新作「おしらさま」切り絵の下絵



障害を跳ぶ馬(白岩與一郎氏蔵)

(注)宮田雅之(1926年～1997年)：切り絵画家。NHK大河ドラマ「花の乱」のタイトル画と題字で話題を呼んだ。日本人初の国連公式認定画家。